

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～なかよく 明るく つよく正しく～

1学期を振り返って

1学期の始業式に子供たちに「もっと なかよく 明るく つよく正しくすごせる遷喬小にみんなの力でしていきましょう。」と話しました。1学期を振り返ると、子供たちは日々の学校生活の中で、友達との関わりを通して確かな成長を見せてくれました。時には友達同士のトラブルもありましたが、その都度、「どうすればよいか」を考え、自分たちでよりよい行動を選択しようとする姿が見られました。こうした経験の積み重ねが、子供たちの心を大きく育てています。また、5・6年生を中心とした委員会活動では、昨年度と同じ活動をするのではなく、新たな発想で活動する姿も多く見られました。「もっと なかよく 明るく つよく正しく」にふさわしい姿でした。

保護者の皆様には、日頃から温かく見守り、学校とともに子供たちを支えていただき、心より感謝申し上げます。

もうすぐ夏休み

いよいよ夏休みが始まります。子供たちにとって、安全で充実した毎日となるよう、ご家庭でも規則正しい生活を心がけていただきたいと思います。「早寝・早起き・朝ごはん」を基本に、生活リズムを整え、健康に過ごすことが大切です。また、交通事故や水の事故は、ほんの一瞬の気の緩みで起きてしまいます。「自分の命は自分で守る」という意識をもち、事故には絶対に遭わないよう、安全な行動を心がけてほしいと思います。さらに、家族の一員としてお手伝いなどの役割を果たしたり、旅行や地域行事、自然とのふれあいなど、夏休みならではの体験を積んだりすることも大切です。そして、1学期の学習を振り返り、苦手な内容を復習することで、2学期への自信につなげてほしいと思います。実り多い夏休みとなることを願っています。

のぼり旗あいさつ標語

久世地区 PTA 連合会で毎年のぼり旗を作成し、各校で使用しています。今年度は遷喬小が担当となっています。先日、のぼり旗に載せる「あいさつ標語」を募集したところ、多数

の応募がありました。遷喬小学校運営協議会の皆様に、特選2点、準特選6点、入選10点を選考していただきました。特選の2点は、のぼり旗になります。

特選

「あいさつで 地域と学校 笑顔の輪」 江原 志悠

「あいさつで 元気いっぱい まにパワー」 後安 結斗

準特選

「ひろげよう みんなのえがおと あいさつを」 岡崎 未遥

「あいさつは 心のドアを 開けるカギ」 武田 莉緒

「あいさつは 心をつなぐ 合言葉」 西國 晶翔

「あいさつで 心広がる みんなの輪」 櫛山 健真

「おはようと さよならおかえり また明日」 窪山 悠生

「開こうよ 心のドアを あいさつで」 柴原 沙依

入選

早嶋 芽依 岡田 葵 谷口 光 菱川 明希 難波 璃音 岡田 紬

庄司 うらら 福島 未央里 行部 美愛 藤井 直之

絵日記でアジアを知ろう

6年生は、総合的な学習の時間「国際理解」の一環として、ユネスコ協会の方をゲストティーチャーにお迎えし、「絵日記でアジアを知ろう教室」を行いました。アジアの子供たちが描いた絵日記をもとに、それぞれの国の暮らしについて学びました。男子しか学校へ通えない地域があるネパール、血洗いの仕事をしながら学校へ通うパキスタンの女の子、地雷によって片足を失いながらも前向きに生活するスリランカの男の子など、一人一人の生活や思いに触れることができました。学習後には、「日本で安心して学校に通えることは当たり前ではない」「世界中の人が幸せに暮らせるよう、SDGs の目標を大切にしていきたい」などの感想が発表されました。世界にはさまざまな環境の中で生活する人々がいることを知り、自分たちの生活を見つめ直すとともに、国や文化の違いを認め合い、互いを大切にする心を育む貴重な学びの機会となりました。



地域のイベントを支える人の思いを学ぶ

3年生は総合的な学習の時間に、地域の行事について学習しています。今回は真庭商工会の方をゲストティーチャーにお迎えし、毎年8月14日に旭川河川敷で開催される「リバーサイドフェスティバル」の運営についてお話を伺いました。

子供たちは、たくさんの来場者が楽しみにしているイベントを開催するために、事前の打合せなど、さまざまな準備が行われていることを知りました。また、当日は会場内でけがや事故が起こらないように、危険箇所の確認や動線の工夫など、安全対策にも細心の注意を払っていることを学びました。花火を打ち上げるために、消防団の方も協力していることや、スタッフの皆さんが朝早くから会場設営を行い、イベント終了後も夜遅くまで片付けに取り組んでいることを知りました。

今回の学習を通して、地域のイベントは多くの人の支えや努力によって成り立っていることを知り、子供たちは地域への理解と感謝の気持ちを深めることができました。今後も地域の「ひと・もの・こと」と関わる学習を通して、ふるさとへの愛着を育んでいきます。



着衣泳～5年生～

5年生が水泳学習の一環として、着衣泳を行いました。子供たちは、普段着を着て靴を履いたまま水に入り、泳いでみることで、衣服が水を含むと体が重くなり、思うように動けないことを体感しました。また、ペットボトルなどを活用しながら、助けが来るまで慌てずに浮いて待つ「命を守るための浮き方」の練習にも取り組みました。

今年も、川や海で水の事故により尊い命が失われたという痛ましいニュースが報じられています。急な流れのある川や波の高い海では、自分の力だけで岸にたどり着くことは非常に難しい場合があります。だからこそ、危険な場所には近づかないことが何よりも大切です。

